

スパークリング娘牛で初EX誕生!!



キャピタル スパークリング ジレット ジェーン EX-90 乳器EX-91 (4-03)
母の父/レーガンクレスト エルトン ダーハム ET 群馬県前橋市/都丸 進氏 所有

JP3H 53999 ジレット ティーウエーブ

スパークリング ET

BLF/CVF/BYF

父: プレイテール ゴールドウイン
母: ジレット ブリッツ セカンド ウインド ET VG-88
母の父: フューステッド エモリー ブリッツ ET

NTP+2,822 全国第16位

■乳用強健性+2.48 **全国第1位** ■体貌と骨格+2.41 **全国第1位**
■決定得点+2.20 **全国第2位** ■乳器+2.24 **全国第3位**

- 抜群の体型効果を示し、特に乳器を顕著に改善
- 好タイプのセカンドクロップ娘牛続々登場!!

Congratulations!



〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F

〈業務部〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈改良課〉
TEL(011)242-9646
肉牛改良課
TEL(011)242-9647

●道北事業所..... TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所..... TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 広域 TEL(011)375-4395 FAX(011)375-4411
道央 TEL(011)375-4422
●十勝北見事業所..... TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター..... TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター..... TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330

ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

未来を拓く 次世代づくり

発行所: 社団法人 ジェネティクス北海道

発行人/松尾 誠之

平成25年1月18日号

Sire

サイア

Vol.398

1
月号



「みつめる子牛」画:富田 美穂 ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

CONTENTS

- 2 新年の挨拶
- 3 家畜人工授精講習会開催要領
- 4 現場レポート(乳) 帯広農業高等学校 ホルスタインクラブ
- 6 交配相談サービス実施レポート
- 8 注目のカウファミリー 第10回 サルー シヤトル メイ フタゴ VG-87
- 10 現場レポート(肉) 今金町和牛生産改良組合 ~佐藤牧場~
- 12 H24年 本誌表紙を飾った作品
- 13 期待の種雄牛(肉) H黒-187 勝早桜5
- 14 新規種雄牛の紹介(肉)
- 15 新規供用種雄牛の紹介 H黒-246 第1花藤

謹賀新年

巳

新年のご挨拶



社団法人 ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

乳・肉用牛の改良増殖事業の推進にあたり、日頃より格別のご厚情を賜りまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

平成24年を振り返りますと、3月の補給金単価の25銭アップに引き続き、乳業メーカーとの交渉により、2円31銭の値上げがなされたことにより増産シグナルが表明され、103%の計画生産目標に沿って、関係者一丸となって増産に向けて努力をしてきました。

しかしながら、米国の記録的干ばつの発生によるトウモロコシの生育状況悪化と収穫量の減少は、世界的な穀物価格の上昇を招き、安定基金財源の枯渇問題並びに原油高を背景にした各種資材の高騰により酪農・畜産の生産現場にとっては極めて厳しいものとなりました。

一方、5年に1度行われる全国和牛能力共進会が長崎県で開催され北海道代表として当団種雄牛『恵方』のほか、生産者のご協力の下、多くの当団種雄牛産子も出陳していただき優秀な成績を収めることができました。

府県の黒毛和牛に対する歴史の重さに敬意を表すると同時に、北海道の和牛が着実に力をつけている事を実感することができた大会でした。

昨年末に政権交代が起きましたが、我々農業関係者はTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加について、わが国農業に重大な影響を与え、結果として日本の食と暮らしへの影響が懸念されることから、一貫して参加反対を訴えて来ましたが、新

政権下においても引き続き絶対反対の姿勢を貫く必要があると再認識しているところであります。

そのような状況下で当団事業につきましては、生産者の皆様に国内の乳用牛後代検定事業より選抜された経済性の高い検定済種雄牛を活用していただいております。

受胎性の向上と共に乳牛の遺伝改良を図りながら酪農経営の向上に貢献して行くため、積極的に国内検定済種雄牛を利用して頂ける様各種事業を推進して参ります。

特に性選別精液の活用による効率的な優良雌牛の生産拡大に努めておりますが、今後一層、技術の向上と安定供給に努力を重ねて行くつもりです。

また、乳用牛群の改良促進のお手伝いとして推進している交配相談事業は、関係団体などのご指導とご協力の下で推進を継続しております。今後とも直接、酪農家の皆様の改良ニーズに沿った、牛群改良を促進するため一層力を入れて参りますので、是非ともご活用頂きますようお願い申し上げます。

黒毛和種については、道内関係者のご協力により後代検定事業を推進しており、生産者の皆様に北海道の優秀な検定済種雄牛を安心してご活用頂ける様、今後とも努めて参ります。

本年も、酪農・肉牛経営向上のお役に立つため、役職員一丸となって努力を重ねて行く所存でございますので、引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成25年度 牛に係る家畜人工授精に関する講習会開催要領

牛に係る家畜人工授精師を養成するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者 : 社団法人ジェネティクス北海道
- (2)開催期日 : 平成25年5月13日(月)から同年6月6日(木)まで(日曜日を除く22日間)
- (3)場所 : 北海道立総合研究機構 畜産試験場
上川郡新得町字新得西5線39番地
- (4)受講資格 : 牛に係る家畜人工授精師の免許を取得しようとする者で、家畜改良増殖法第17条の規定(別記参照)に該当しない者。
- (5)受講人員 : 30名程度
- (6)選考方法 : 希望者が受講人員を上回った場合は、次により選考する。
ア 推薦 : 家畜人工授精事業を実施している農業協同組合又は農業共済組合等の職員であって、授精事業に従事する予定の者。
イ 一般 : 上記ア(推薦)以外の者については、書面審査及び選考試問を行なう。
・選考試問は、畜産に関する一般常識及び生物に関する問題の筆記試験とする。
・生物に関する問題は、中学校、高等学校における理科、生物の教科の範囲から出題する。
- (7)講習科目 : 家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数。

2 修業試験 学科及び実習

- (1)日時 : 平成25年6月6日(木)及び7日(金)
- (2)場所 : 上記1の(3)に同じ

3 受講手続

次の書類を社団法人ジェネティクス北海道理事長に提出する。

- (1)推薦(1,(6),ア) : 受講願書(別記様式)、履歴書(市販様式に限る)及び推薦書
・推薦書は、受講理由を記載した所属組合長が発行する書面
- (2)場所(1,(6),イ) : 受講願書(別記様式)及び履歴書(市販様式に限る)
・履歴書に家畜人工授精師を志望する理由を明記すること
・選考試問の実施期日及び場所については別途本人に通知する
- (3)提出期限 : 平成25年3月11日(月)必着とする。

4 受講料

60,000円(宿泊費等を除く。納入については受講決定時に別途通知する。)

5 受講許可

受講許可又は不許可については、書面で本人に通知する。

6 その他

- (1)宿泊は、各自が旅館等に申し込むこと。なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2)講習会場へは、バス等の公共交通手段がないので各自で確保すること。
- (3)提出された書類は返却しない。
- (4)受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

社団法人ジェネティクス北海道・生産部
060-0004札幌市中央区北4条西1丁目1北農ビル
(Tel 011-242-9644 Fax 011-242-9651)

[日本工業規格A4]

受 講 願 書

平成 年 月 日

社団法人ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰 様

所 属

本籍地 (都道府県名)

現住所

氏 名

昭和・平成 年 月 日生

印

牛に係る家畜人工授精に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

家畜改良増殖法第17条の規定(家畜人工授精師の免許を与えない場合)

- 第17条 成年被後見人又は被保佐人には、前条第1項の免許(注1)を与えない。
- 2. 次の各号のいずれかに該当する者には、前条第1項の免許(注1)を与えないことができる。
 - (1) 心身の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うことができない者として農林水産省令(注2)で定めるもの
 - (2) 麻薬又は大麻の中毒者
 - (3) 家畜伝染病予防法、種畜法、薬事法、獣医師法、獣医療法もしくは家畜商法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられた者
 - (4) この法律(注3)又はこの法律に基づく命令の規定に違反した者

注1: 家畜人工授精師の免許

注2: 農林水産省令(家畜改良増殖法施行規則第26条の2)

- (1) 視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能又は精神の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- (2) 上肢の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な技能を十分に発揮することができない者

注3: 家畜改良増殖法

～拓く・魅せる・輝く～ 若き力!

帯広農業高等学校ホルスタインクラブ

はじめに

今回取材に伺った帯広農業高等学校は、今年で創設92年目を迎え、北海道農業を牽引する若者を多く輩出している歴史ある高校です。

授業だけではなく、柔道部・陸上部等の部活動や農業クラブの活躍も目覚ましいものがあり、その中のひとつに牛が大好きな学生が集まったホルスタインクラブがあります。現在部員は10名(3年生3名、2年生1名、1年生6名)で共進会での上位入賞を目標に日々活動を続けています。昨年も共進会で好成績を納め、農業高校のクラブとして高い評価を受けていますので、その活躍ぶりをご紹介します。



ミルクパーラー

ホルスタインクラブ

平成7年にクラブが創設され、今年で18年目となります。卒業生の中には、創設時のメンバーである津別町の柏葉俊氏をはじめ共進会で活躍されている先輩方が数多くおられます。

現在は1年生が6名と多く在籍していますが、1年生は寮生活のため当番等で朝の活動が十分出来ない状況です。全員が集まれる放課後3時半から5時までの限られた時間が主な活動時間となります。しかし、牛好きの生徒さん達なので休みの日にも牛舎に集まります。朝から夕方まで熱心に牛の世話をし、共進会に出陳する牛の調教や毛刈りに励んでいます。



フリーストール牛舎



4月になれば、2・3年生がそろった朝の活動も再開でき、さらに充実した活動となり活気があふれます。

年7回ほど共進会やBWショウに積極的に参加出陳しております。昨年は9月22～23日に安平町で開催されました2012北海道ホルスタインナショナルショウのリードマンコンテスト高校生の部(2・3年)において1等1席、2席と素晴らしい成績を収めました。ショウへの参加の感想を聞くと、部員全員が口を揃えて「辛かったことはありませんでした！すごく楽しかった！」と語り、高校生活の思い出として深く胸に刻まれた様子が覗えました。

カチノー ブリッツ アイオン号



平成24年11月3日開催の北海道ホルスタインウィンターフェアでは、カチノー ブリッツ アイオン号(父: JP3H53584 アイオン)が、育成ジュニアクラスで1等1席に輝きました。

リードマンを務めた佐藤さん(3年生)がブリッツ アイオン号を引き出して見せてくれました。「バランスのよい牛ですけど首が重たく、なかなか素直に頭をあげてくれない娘なんです。リングではいつも頭を上げるようにと注意されていました。」毎日限られた時間の中で、1年生の天野君達と力を合わせ、難しい調教を進めました。休日にはOB達も訪れ、ショウに向けたアドバイスを頂いたそうです。「ウィンターフェアのリングでは、見事に頭を上げることができました。最高でした！めちゃくちゃ嬉しかったです。」佐藤さんの言葉からそれまでの苦労を吹き飛ばすメンバー全員の思いを感じることが出来ました。全道レベルの共進会やBWショウで1等1席になることは大変難しく、快挙となるこの素晴らしい成績は日々の努力が実った結果です。



部員とカチノー ブリッツ アイオン号

夢に向かって

来年の共進会に向けて、2頭のアイオンの娘牛やレットライナー、アドベントの娘牛達の準備が既に始まっています。また、実習担当高橋洋教諭も「歴代の中でも熱心な生徒達だ」と感心されておりますので、来年・再来年と帯広農業高校ホルスタインクラブの更なる活躍が期待されます。

3年生が引退した新体制が一一致団結して取り組んでおり、新部長の久保田君(2年生)からは「大きな夢を成し遂げたい」、天野君(1年生)からは「全道で1等を目標に頑張りたい」と更に力強い言葉も出ておりました。二人の言葉には、これからの酪農業を担って行く若い力を感じることができました。



部室のホワイトボード

おわりに

先輩・後輩の垣根がなく、和やかな雰囲気があると微笑ましい光景であり、毎日が楽しそうな生徒達でした。

今回、急な取材の依頼に快く承諾して頂きました帯広農業高校、高橋洋教諭及びホルスタインクラブの方々に感謝するとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます

(十勝北見事業所 亀谷 悟史)

交配相談サービス実施レポート

中頓別町：安達牧場／美瑛町：美瑛町乳牛検定組合 ～変化の兆しが見えてきました～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスの推奨する種雄牛との交配によって生まれた娘牛が分娩をはじめました。そこで、今回は安達牧場(中頓別町)の経営主である安達正雄さんと奥様の春美さんに、また、検定組合全体で交配相談を利用して頂いている美瑛町乳牛検定組合の山岸敬貴組合長に交配相談を始めるきっかけとその後の変化について伺いましたのでレポートいたします。

安達牧場

中頓別町は、宗谷管内に位置し、明治末期にゴールドラッシュに沸き、『北緯45度癒しの里ーロマン息づく大自然の町』をキャッチフレーズに掲げる『酪農のまち』です。

中頓別町HP: <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>

1 安達牧場について概況を教えてください。

当牧場は、総数142頭を飼養しており、搾乳牛63頭の1頭当たりの乳量は9,774kgです。奥さんが搾乳作業と繁殖管理を担当しています。交配相談は、第1形質に総合指数(NTP)、第2形質に乳器を設定して結果表を作成しています。

2 交配相談をどのようなきっかけで始めたのですか？

以前から個体ごとに乳器の形状に差異が見られ、なんとかこれを少なくして搾乳のしやすい牛群に改良していくことはできないかなあと考えていました。その時にJA中頓別町の石井敏之授精師から交配相談を紹介されたことがきっかけで始めました。

3 交配相談を始めてから変化はありましたか？

2012年より牛群には交配相談

の結果に基づいて生産された娘牛が搾乳を始めています。交配相談を利用する前に生産された娘牛と比較して、育成牛の段階から個体間による成長のバラつきが少なかったです。さらに、分娩後の搾乳作業を個体によって変化させることなくスムーズに進めることが出来るようになってきました。交配相談の結果表に推奨種雄牛が絞られて出力されるために、斉一性の高い娘牛が生産されたのではないかと思います。その他、以前は私自身が種雄牛や改良に関して全く興味がなく全てを授精師に任せていました。しかし、交配相談を始めてから生まれてきた娘牛の斑紋とブルブックに掲載されている父牛の斑紋との比較や、交配相談の結果表を介して授精師と種雄牛に関する相談をするようになり、自分自身が納得をした上で授精を依頼するようになりました。



安達牧場とJA中頓別町のみなさん

4 今後の改良の方向性について教えてください。

搾乳作業や飼養管理しやすい牛群です。酪農ヘルパーが来てもスムーズに搾乳出来る牛群が理想ですね。また、性選別精液を利用して優れた娘牛を効率的に生産していきたいと考えています。今後、どのような牛群になっていくかがとても楽しみです。

美瑛町乳牛検定組合

美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、大雪山十勝岳連峰の裾野に広がる丘陵地帯で営まれている農業景観となだらかな曲線が作り出す耕作地の美しい風景が『丘のまぢびえい』の観光資源となっております。

美瑛町HP: <http://www.town.biei.hokkaido.jp/index.php>

美瑛町乳牛検定組合は、美瑛町の酪農家29戸のうち22戸が加入しています。2010年より組合員19戸を対象に交配相談サービスを利用して頂いております。当サービスを利用することになったきっかけとその後の状況について山岸敬貴組合長に伺いました。

1 交配相談をどのようなきっかけで始めたのですか？

近交係数の急上昇をどうしたら回避できるかと検定組合の会議で話し合っている中で、ジェネティクス北海道の交配相談サービスを知りました。

交配相談を通じて組合全体で近交係数を意識するきっかけになればと考えて取り組むことになりました。

2 交配相談を始めたことで変化はありましたか？

① 授精に対する意識が変化したのではないかと思います。以前は種雄牛選定を技術員に任せていましたが、今は交配相談の結果表を参考にしながら自発的に決めている方が多

くなっています。
② 近交係数に対する意識がさらに高まったのではないかと思います。交配相談を利用すると、自分の牛群と地域の近交係数とを比較することが出来るため、近交係数に対する意識がさらに高まったのではないかと思います。



山岸組合長(左)と道北事業所 氏平業務課長

3 今後、乳検組合としてどのように交配相談を利用していききたいですか？

乳検組合の選定種雄牛を決める際に交配相談の結果を利用していききたいです。具体的にいうと、事前に交配相談を利用して美瑛町の牛群全体に対する改良効果や近交係



数などをシミュレーションして事前に種雄牛をピックアップしておいて、その中から個別の選定種雄牛を決定するという方法です。

今回は、安達牧場と美瑛町乳牛検定組合で交配相談を始めたきっかけとその後の変化についてお話を

伺いました。交配相談による牛づくりの成果が表れるのは長い時間を要します。当人も交配相談を通してみなさんの乳牛改良のお手伝いをさせていただきたいと思っています。大変お忙しい中、取材にご協力頂いた安達牧場の正雄

さんと奥様の晴美さん、そして美瑛町乳牛検定組合の山岸敬貴組合長に感謝いたします。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、皆さんが継続して乳牛改良に取り組みめるように、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えております。

北海道限定 ジェネティクス北海道交配相談サービス

**作業効率の高い牛群づくり！
ニーズに合わせた種雄牛を選択！
近交係数と遺伝病の発症率のコントロール！**

詳しくはお近くの事業所または改良部までご連絡ください。

第10回

系統図

サリー ショトル メイ フタゴ VG-87



今回紹介するカウファミリーは、北米のジェノミック評価成績をリードしている“サリー ショトル メイ フタゴ”ファミリーです。メイはショツテルを代表する娘牛の1頭であり、好体型・高能力に加え管理形質にも定評があり、これらの能力を子孫へ強く伝達することで知られています。メイや彼女の娘達には世界中の授精所からの雄契約や受精卵契約が多く、日本へはなかなか遺伝子を導入することができない人気のファミリーです。

メイ【写真1】が生まれたのはミネソタ州南東部カソンのサリーヒル牧場で、当牧場は過去にビジョンジエン オメガ ETやサリー マンフレッド オレンジ ETなど日本でも有名な牛達を所有していました。メイ・ファミリーはこのファミリーとは異なり、2003年に祖母のジョナン マーシャル ミントをシンジケートで購入したのが始まりでした。このファミリーは、機能的体型と好乳器、安定した能力に加えて7代連続VG以上を獲得して

おり、安定力には定評がありました。祖母ミントに2004年当時のTPI第1位にランキングしていたオーマンを交配し誕生したのが母ミス サリー オーマン ミューツエ ET【写真2】です。彼女はオーマン娘牛の中でも極めてスタイリッシュで乳用強健性に富み、2産分娩後に90点を獲得しました。初産分娩時にショツテルで双子の雌を産みましたが、この内の1頭がメイでした。メイは母譲りのスタイリッシュさと乳用強健性を備え、分娩後も順調に高能力を発揮し乳器の素晴らしい牛でした。当時(2009年秋)のジェノミック評価で、プラネットによる娘牛達4頭が全て高評価で公表され、更にメイからの候補種雄牛も高評価されたことから、彼女への注目が一層集まりました。

アイオワ州のデスー牧場は、最もジェノミック評価が高かったサリー プラネット モンタナ ET【写真3】を未経産時に購入、更にメイ本牛も同時に購入しました。モンタナは2012年

12月公表の雌牛評価でTPI第7位にランキングされており、デスー牧場の牛群内でもトップクラスの能力を発揮し、好体型・好乳器・好肢蹄と欠点のない娘牛です。

アイオワ州のファーニアー牧場は、2番目のジェノミック評価だったサリー プラネット モントリオール ET【写真4】を未経産時にセールで購入し、雌牛評価でTPI第62位にランキングしています。

カナダのロツキーマウンテン牧場へ移動したサリー プラネット 935 ET【写真5】は、GLPI評価に換算するとプラネット4姉妹の中で最も評価が高く、2012年12月の雌牛評価でGLPI第43位にランキングしています。

サリーヒル牧場に残ったサリー プラネット マントバ ET【写真7】は、現在TPI第40位にランキングしており、採卵を繰り返しています。2012年のカナダ・セールオブスターズのトップセール牛は、マントバにウノ(イタリア:マンオーマン×ショツテル)を交配した娘牛でカナダ\$250,000(日本円で約2100万円)の高額で取引されました。彼女は6ヶ月齢と若い未経産でありましたが、GLPIとGTPI両方で第1位のウノ娘牛となったことが高く評価されました。

メイ・ファミリーは、ジェノミック評価により急浮上したファミリーの一つで、4頭のプラネット娘牛はその評価以上の力を発揮しています。これら娘牛からの子孫は、若齢ながらもジェノミック評価が非常に高く世界中から一層注目され、益々ファミリーが繁栄していくものと思われます。



- ♀ フットプリント ニック ミラン VG-89 (S:ニック)
- ♀ ポリーコウ リンデイ ミンディ ET VG-88 (S:リンデイ)
- ♀ ポリーコウ ルドルフ ミンク ET VG-86 (S:ルドルフ)
- ♀ ポリーコウ ダーハム ミンシー ET VG-88 (S:ダーハム)
- ♀ ジョウナン マーシャル ミント VG-85 (S:BW マーシャル)
- ♀ エムエス サリー オーマン ミューツエ ET EX-90 (S:オーマン) 【写真2】
- ♀ サリー ショトル メイ フタゴ VG-87 (S:ショツテル) GTPI +2176 【写真1】
- ♀ サリー プラネット モンタナ ET VG-86 (S:プラネット) GTPI +2323 第7位 【写真3】
- ♀ デスー 778 ET (S:アイオタ)
- ♀ デスー モーグル 2048 ET (S:モーグル)
- ♀ サリー プラネット モントリオール ET VG-87 (S:プラネット) GTPI +2213 第62位 【写真4】
- ♀ ファーニアー TBR BH ムービースター ET (S:バウザー)
- ♀ ファーニアー TBR BH ウノ メイス ET (S:ウノ)
- ♀ サリー プラネット 935 ET VG-86 (S:プラネット) GLPI +2982 第43位 【写真5】
- ♀ ファーニアー TBR BH スノーマン ET (S:スノーマン) 【写真6】
- ♀ サリー プラネット マントバ ET VG-83 (S:プラネット) GTPI +2235 第40位 【写真7】
- ♂ サリー ハート メリデアン ET (S:ドメイン)
- ♀ サリー ハート フォード スノーマン ET (S:スノーマン) 【写真8】
- ♀ サリー グラファイティ 300 ET (S:グラファイティ) 【写真9】
- ♀ サリー ヌメロ ウノ マリベル ET (S:ウノ)
- ♀ サリー バウザー 106 ET (S:バウザー) 【写真10】
- ♂ デスー D メイフィールド 893 ET (S:メイフィールド)
- ♂ デスー BKM マツカチエン 1174 ET (S:ブツケム)

今金、お待ちかねっ!! 今金町和牛生産改良組合 ～佐藤牧場～



佐藤牧場全景

昨年の10月、長崎県で開かれた5年に1度の和牛のオリンピック、第10回全国和牛能力共進会(全共)から2ヶ月半が経過しました。まだまだこの話題は冷めぬまま、次の第11回全共宮城県大会という舞台に向けて多くの方々熱意を燃やしていることと思います。

今回は、その中でも肉牛の部第8区「若雄後代検定牛群」へ北海道代表として取り組んだ今金町和牛生産改良組合長・北海道和牛振興協議会副会長の佐藤弘一さんの牧場を紹介いたします。



右から佐藤弘一さん、奥さんの千津子さん、JA今金の加藤課長補佐

○今金町の概要と

今金町和牛改良組合

北海道内のラジオ放送でのCM「いまかね、いまかね、お待ちかねっ!!」と耳にする今金町は渡島半島の北部、檜山管内の最北端に位置しており、東は長万部町、西はせたな町、南は八雲町、北は島牧村と境界を接し、道南地域では珍しく海岸線を持たない環境にあります。

江戸時代から明治の終わりごろまでは鉱業により多くの方が本州から入ってきたようですが、本格的

な開拓は明治の中期頃より始まり、入植者の必死の努力と肥沃な土壌や気候の恩恵を受け、農業、酪農畜産業が発展してきました。

今金町では昭和47年に広島県から素牛導入を始め、平成2年に今金町和牛改良組合に認定され、現在では48戸で1,053頭を飼養しております。毎年行われる町の共進会には40頭程度が出陳され、道南管内の共進会を勝ち抜け、全道共進会でも上位に入る実績を持ち、更には長崎全共



育成牛舎

へ向けた北海道最終選抜会では惜しくも敗れたものの第3区(若雌の2)と第6区(高等登録群)では補欠に選ばれる等、改良に向けた志を高く持っている生産者が多いのが特徴です。

○佐藤牧場の概要

佐藤さんの曾祖父が明治以前に福島県より入植したことから佐藤牧場の歴史が始まりました。稲作を主に行っていたのですが、地域で和牛を飼養する農家が増えてきたことに刺激され、昭和61年の夏に広島県より3頭を導入し、その後島根県より賢晴、賢深、第7系桜等を導入、生産の基盤を作り上げてきました。稲作は10年以上前にやめ、水田は牧草地とし、畜産専業農家となりました。当初は繁殖牛だけでしたが、肥育にチャレンジしてみたいと思うようになり、平成6

年頃より交雑種や経産牛の肥育を試しながら、その後一貫肥育農家として黒毛和種の肥育を行うようになりました。

現在は、佐藤弘一さんと奥さんの千津子さんと息子さん(息子さんはJA勤務)のお嫁さんの3人で、繁殖牛32頭、肥育牛22頭、育成牛27頭を飼養しており、肥育牛の出荷は約10頭/年、素牛市場へは約20頭/年を上場しています。繁殖牛の系統は気高系と田尻系が主な構成となっており、気高系ではH黒-125「北勝隆25」等、田尻系ではH黒-80「北平安」等を飼養しています。また、佐藤さんは「いつまでも同じ精液にしがみつかないで、若い種雄牛を活用し、改良が後戻りしないようにしている。」と、積極的に若い雄を活用しております。現に6月生まれの父がH黒-189「北斗王」、母の父が北勝隆25の組み合わせの雌牛がおり、体型が良いことから保留しようと思っているそうです。また、「後代検定事業は若い母体への授精をしないと意味が無い」として、早期に育種価を判明させる為、若い母体への交配を積極的に行っております。

吟味された繁殖牛群を揃えることで現在の飼養頭数を維持しながら利益が生まれるよう努力を重ねており、その為にも、古い母牛や成績の悪い牛は牛群に残さないようにしているそうです。JAの畜産担当者も同じ考えで、繁殖牛情報を活用したうえで淘汰の推奨を行っています。



保留予定の「北斗王」×「北勝隆25」の雌子牛



6月生れの「北斗王」×「百合茂」の雄子牛



肥育中のH黒-200「松福久」産仔

○第10回 全国和牛能力共進会への取り組み

佐藤さんは種牛の部第6区「高等登録群」、肉牛の部第8区「若雄後代検定牛群」でチャレンジしました。

第6区は惜しくも補欠でしたが、第8区では見事北海道代表となることが出来ました。第8区は次の世代を担う能力の高い、若い種雄牛の発掘と現場後代検定の普及促進を狙った区である為、佐藤さんの日頃

の考えにマッチした区でもありません。限られた授精期間の中で、発情がタイミング良く来た自家繁殖牛4頭に「北斗王」を授精しましたが、生まれてきたのは雄1頭雌3頭という結果でした。この雄子牛に全共出品という夢を賭け、名号を母牛「かねひめ1」の「かね」と「今金」の「金」と「北斗王」をもじって「金北王」と名付けました。授精時は母の育種価も出ていなく、遺伝的に未知数だったこともあり、最終選抜まで残るかどうかが不安でしたが、数日にわたる調査の結果、最終的に決定した時の喜びはひとしおだったようです。

長崎での結果を見る為、佐藤さんは奥さんの千津子さんと自家用車に乗り、函館から青森までフェリーに乗り、ひたすら長崎まで往復で4,300kmを走行したそうです。結果は19組57頭中優等賞8席に輝きました。3頭1群という中で、どの枝肉も24ヶ月には見えないぐらいしっかりとした枝肉で、BMS No.7と他の2頭を含め上物率100%となり、セリでは1キロ4,110円の値で落札され堂々の結果となりました。「北海道はまだ上へ行ける」と伸び代があることを感じたそうです。もちろん、次回の宮城県へのチャレンジを固く約束をしてくれました。

○種雄牛への挑戦

チャレンジ精神旺盛な佐藤さんには種雄牛の造成も手掛けていた

だけでした。JAの畜産担当をしている加藤課長補佐は「(社)北海道酪農畜産協会から発信される繁殖牛情報を用い、高い能力を持っている牛をチェックするようにしている」と話します。その様な中、高育種価牛を見つけることが出来た為、当団より計画交配として北平安を交配していただけることとなりました。様々な検査等の関門をくぐり抜け、その種雄牛が今冬、後代検定事業に選ばれることとなり調整交配が始まりました。その種雄牛はH黒-227「北平照」号で父:北平安、母の父:安平照、母の祖父:平茂勝という系統です(P14参照)。本牛は父の北平安に似て、骨締まりや皮膚被毛の良さ等といった質の良さが特長です。現場後代検定の結果が出るまではまだ数年かかりますが、良い成績で選ばれることを期待しております。

○最後に

新しいことへのチャレンジ精神を忘れず、若い生産者、ベテランの生産者が力を合わせ、一生懸命になった地域の取り組みが今の結果を出していることを実感し、今後の更なる発展を感じる取材となりました。今回お忙しい中、取材にあたりご協力をいただいた佐藤さんご夫妻、今金町農業協同組合の皆様、心より厚く御礼申し上げます。

(道央広域事業所 廣瀬 大介)



全共出品牛「金北王」号

H24年 本誌表紙を飾った作品

作者：富田 美穂
(北海道小清水町在住)



1月号「放牧地にて」



3月号「鼻息」



5月号「反芻」



7月号「エンドレス ジアンピ」



9月号「待機場の乳」



11月号「17才の牛」

富田 美穂 牛の木版画展
2013年2月16日(土)~3月11日(月) 12:00PM~6:00PM 火曜日定休
Gallery Retara ギャラリーレタラ 札幌市中央区北一条西28丁目2-35 MOMAplace3F



■個体識別番号:12323-3265-5 ■黒14289
■83.3点 ■平成18年6月23日生 ■北海道産
※遺伝病は全てマイナス

H黒
187

かつ はや ざくら
勝早桜5

気高系

発育良好で上物率78%!! 安定した産肉能力で高い経済効果を発揮

平成24年10月に現場後代検定材料牛41頭の成績が判明した「勝早桜5」は、BMS.No.12を筆頭にBMS.No.10以上が5頭、去勢牛の上物率が80%と高く、全体でも78%と当団トップの産肉成績でした。「平茂勝」の代表的息牛「勝忠平」と、「安平」(母の父)の交配により作出された本牛は、但馬系の繁殖牛に交配する事で高い産肉能力、特に脂肪交雑と経済的に重要な増体面の改良が期待されますが、検定成績から見ると藤良系、気高系との相性も良く、交配し易い種雄牛と言えます。



現場後代検定成績 (終了申請中)

| | 頭数 | 月齢 | 上物率(%) | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | バラの厚さ(cm) | 皮下脂肪厚(cm) | 歩留基準値(%) | BMS No. | 肉の色光沢等級 | きめしまり等級 | 脂肪光沢等級 |
|----|----|------|--------|----------|--------------------------|-----------|-----------|----------|---------|---------|---------|--------|
| 平均 | 41 | 28.7 | 78.0 | 467.6 | 60.7 | 8.1 | 2.5 | 74.6 | 6.9 | 4.1 | 4.1 | 4.9 |
| ♂ | 25 | 28.2 | 80.0 | 478.6 | 60.3 | 8.2 | 2.2 | 74.7 | 7.0 | 4.2 | 4.2 | 4.9 |
| ♀ | 16 | 29.6 | 75.0 | 450.3 | 61.2 | 8.0 | 2.9 | 74.5 | 6.6 | 4.1 | 4.0 | 4.9 |

現場後代検定成績 母系系統分析

| 系統 | 性別 | 頭数 | 月齢 | 上物率(%) | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | バラの厚さ(cm) | 皮下脂肪厚(cm) | 歩留基準値(%) | BMS No. | 肉の色光沢等級 | きめしまり等級 | 脂肪光沢等級 |
|----|----|----|------|--------|----------|--------------------------|-----------|-----------|----------|---------|---------|---------|--------|
| 田尻 | ♂ | 15 | 28.2 | 73.3 | 470.7 | 59.3 | 8.1 | 2.3 | 74.6 | 6.7 | 4.1 | 4.1 | 4.8 |
| | ♀ | 5 | 29.2 | 100.0 | 453.4 | 62.6 | 8.0 | 2.6 | 74.9 | 7.2 | 4.6 | 4.6 | 5.0 |
| | 計 | 20 | 28.4 | 80.0 | 466.4 | 60.1 | 8.1 | 2.4 | 74.7 | 6.9 | 4.3 | 4.2 | 4.9 |
| 波 | ♂ | 2 | 28.7 | 100.0 | 484.5 | 63.5 | 8.8 | 2.5 | 75.2 | 6.5 | 4.0 | 4.0 | 5.0 |
| | ♀ | 1 | 30.4 | 0.0 | 432.0 | 67.0 | 7.6 | 2.8 | 75.2 | 6.0 | 3.0 | 3.0 | 5.0 |
| | 計 | 3 | 29.3 | 66.7 | 467.0 | 64.7 | 8.4 | 2.6 | 75.2 | 6.3 | 3.7 | 3.7 | 5.0 |
| 気高 | ♂ | 3 | 27.5 | 100.0 | 476.7 | 59.7 | 7.8 | 2.0 | 74.6 | 8.3 | 4.7 | 4.7 | 5.0 |
| | ♀ | 4 | 29.6 | 75.0 | 496.8 | 63.8 | 8.7 | 3.2 | 74.4 | 6.3 | 3.8 | 3.8 | 5.0 |
| | 計 | 7 | 28.7 | 85.7 | 488.2 | 62.0 | 8.3 | 2.7 | 74.5 | 7.1 | 4.1 | 4.1 | 5.0 |
| 藤良 | ♂ | 5 | 28.3 | 80.0 | 501.2 | 62.6 | 8.5 | 2.2 | 75.0 | 7.4 | 4.2 | 4.2 | 5.0 |
| | ♀ | 6 | 29.8 | 66.7 | 419.8 | 57.3 | 7.6 | 2.9 | 74.1 | 6.5 | 4.0 | 3.8 | 4.7 |
| | 計 | 11 | 29.1 | 72.7 | 456.8 | 59.7 | 8.0 | 2.6 | 74.5 | 6.9 | 4.1 | 4.0 | 4.8 |

第9回 ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会
(H24.10.6 ホクレン十勝枝肉市場 後代検定牛の部)

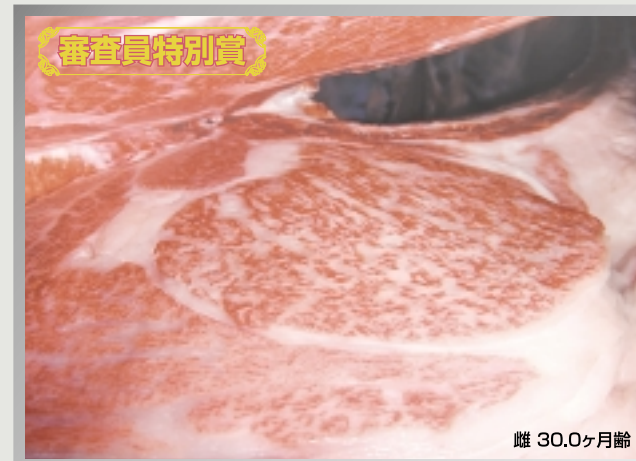


母の父:谷福(事業団) 母の祖父:糸光 ◆ 肥育者:幕別町/二瓶 義則氏
枝肉重量:466kg ロース芯面積:82cm² BMS No.12 格付:A-5

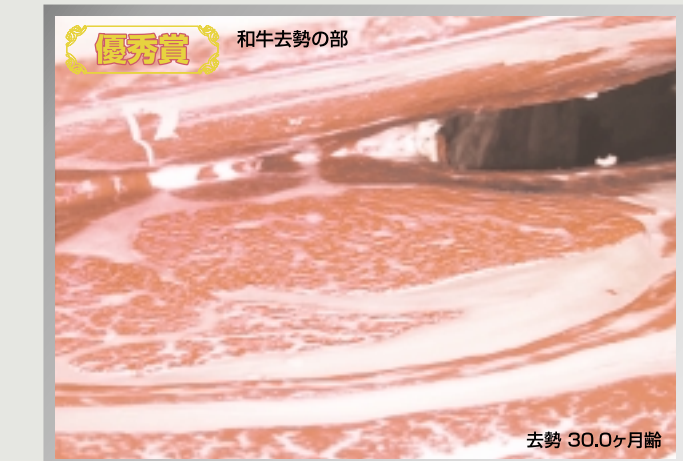


母の父:第6栄 母の祖父:茂重桜 肥育者:本別町/北海道立農業大学校
枝肉重量:545kg ロース芯面積:74cm² BMS No.10 格付:A-5

平成24年度第13回 仙台中央食肉卸売市場月例牛枝肉共進会
(H24.10.17 仙台中央食肉卸売市場)



母の父:福栄 母の祖父:北国7の8 肥育者:宮城県/根元 仁一氏
枝肉重量:497kg ロース芯面積:82cm² BMS No.11 格付:A-5



母の父:安平 母の祖父:福桜(宮崎) 肥育者:宮城県/根元 仁一氏
枝肉重量:464kg ロース芯面積:65cm² BMS No.10 格付:A-5

平成24年度後期新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に、(社)全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法(以下:現場後代検定)による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。
前号に引き続き、平成24年度後期分の現場後代検定候補種雄牛を紹介させていただきます。

H黒-224 茂晴安

【シゲハルヤス】

| | | |
|---|-------|--------|
| 黒 14841 平成22年12月8日生 得点83.5点 生産者:新ひだか町 原 忠夫 | | |
| 平茂晴 | 糸晴美 | 第7糸桜 |
| | しげとし | 第20平茂 |
| やすひらさくら | 安平 | 安福(宮崎) |
| | ひろさくら | 隆桜 |



母「やすひらさくら」【父:安平】は宮崎県から導入された優良雌牛であり、祖母「ひろさくら」は産肉成績に優れており、宮崎県西臼杵郡高千穂町で基礎牛として選抜され、育種価はAAACCAと評価されています。

その母に近年高い産肉能力評価を受けている長崎県基幹種雄牛「平茂晴」を交配し産肉能力の改良を図るとともに、生産現場から熱望されている第7糸桜の血縁が強い種雄牛として造成されました。

本牛は発育良く、体積も十分ある事から産肉能力とともに増体能力に強い期待を寄せる藤良系種雄牛です。

H黒-227 北平照

【キタヒラテル】

| | | |
|---|-------|--------|
| 黒原 5507 平成23年2月8日生 得点82.6点 生産者:今金町 佐藤 弘一 | | |
| 北平安 | 安平 | 安福(宮崎) |
| | てるふく3 | 菊照土井 |
| きみこ | 安平照 | 安平 |
| | ふじかつ | 平茂勝 |



母「きみこ」【父:安平照】は産肉能力が判明している高育種価牛です。
産肉成績は素晴らしく雌牛【父:安茂勝】で格付A-5、枝肉重量450.1kg、ロース芯面積66cm²、BMS No.10、雌牛【父:北勝隆25】で格付A-5、枝肉重量531.0kg、ロース芯面積57cm²、BMS No.8となっています。
その母に当団を代表する「北平安」を交配する事で産肉能力特に脂肪交雑の改良を図るとともに、「安平」産子種雄牛の兄弟交配により菊則土井の血縁を強める事を目的として造成された但馬系種雄牛です。

新規供用種雄牛の紹介

〔平成24年12月より供用開始〕

H黒-246 第1花藤

【ダイ1ハナフジ】

黒 14659 平成20年6月18日生
得点85.0点 生産地:青森県

| 血統 | | | |
|------------------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------|
| 第1花国 黒 12510(82.8) | 北国7の8 黒原 1530(86.7) | 第7糸桜 黒原 29(81.0) | 第14茂 黒原 280 |
| | あおはな 黒 1884989(81.6) 黒高 140927 | きたぐに7 黒高 34962(79.0) | 第9いとざくら 黒原 695 |
| ふみえ 黒 2033240(79.1) | 美津福 黒原 2748(83.3) | 花桜 黒原 957 | 晴美 黒原 19 |
| | ふみふく 黒 2000477(80.3) | 谷福土井 黒高 950 | もりなか 黒原 6976 |
| | みつふく2 黒高 120441 | 第2あおひろ 黒原 601491(79.6) | 糸花 黒原 152 |
| | ゆきひめ 黒原 667164(80.1) | 安福165の9 黒 1683(81.0) | 第5いとひげ 黒原 177028 |
| | | 安谷土井 黒原 85 | 糸光 黒原 90 |
| | | きくつる 黒原 29920 | あおひろ 黒原 127156 |
| | | 田森土井 黒 7663 | |
| | | みつふく 黒原 1447 | |
| | | 安福(岐阜) 黒原 180 | |
| | | いげふし1307 黒原 67760 | |
| | | 福昌 黒原 618 | |
| | | ふくなが8 黒原 117647 | |



本牛は産肉能力に優れた母「ふみえ」【父:美津福】に、全国的に産肉能力の高さが認められている「第1花国」を交配して作出された藤良系種雄牛です。

母「ふみえ」の産肉能力の高さはすでに実証済で、平成18年に東京食肉市場で開催された全国肉用牛枝肉共励会では、全兄【父:第1花国】が枝肉重量553kg、ロース芯面積87cm²、バラの厚さ9.2cm、格付A-5、BMS No.12の素晴らしい成績で名誉賞を獲得したほか、同じ交配の受精卵により生産・肥育された去勢牛もまたBMS No.12、BMS No.10を記録しています。

現在「第1花藤」の和牛産子は肥育中ですが、交雑牛の枝肉成績が判明し枝肉重量581.6kg、格付B-4、BMS No.5の優れた成績でした。

お詫びと訂正

前号サイア(397号)の記事「第9回 ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会」(12ページ)において間違いがありましたので、お詫び申し上げます。

第9回 ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会

誤:【優良賞】も去勢牛が獲得した「勝早桜5」は父「勝忠鶴」、母の父「安平」、母の祖父「隆桜」の血統構成で、検定材料牛頭数42頭中40頭の成績が判明しており、上物率75.0%と高い成績を残しています。

正:【優良賞】も去勢牛が獲得した「勝早桜5」は父「勝忠平」、母の父「安平」、母の祖父「隆桜」の血統構成で、検定材料牛頭数42頭中40頭の成績が判明しており、上物率75.0%と高い成績を残しています。